

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2004-97203

(P2004-97203A)

(43) 公開日 平成16年4月2日 (2004.4.2)

(51) Int. Cl. ⁷	F 1	テーマコード (参考)
AO1M 1/14	AO1M 1/14	2B121
AO1M 1/02	AO1M 1/02	A

審査請求 未請求 請求項の数 11 O L (全 13 頁)

(21) 出願番号	特願2003-105290 (P2003-105290)	(71) 出願人	000100539
(22) 出願日	平成15年4月9日 (2003.4.9)		アース製菓株式会社
(31) 優先権主張番号	特願2002-209559 (P2002-209559)		東京都千代田区神田美土代町9番1号
(32) 優先日	平成14年7月18日 (2002.7.18)	(74) 代理人	100072213
(33) 優先権主張国	日本国 (JP)		弁理士 辻本 一義
		(72) 発明者	竹中 和良
			東京都葛飾区堀切1-35-11-304
		Fターム(参考)	2B121 AA12 BA05 BA07 BA08 BA09
			BA42 BA47 BA53 BA58 CC02
			CC11 CC21 CC25 EA01 FA03
			FA06 FA13 FA15

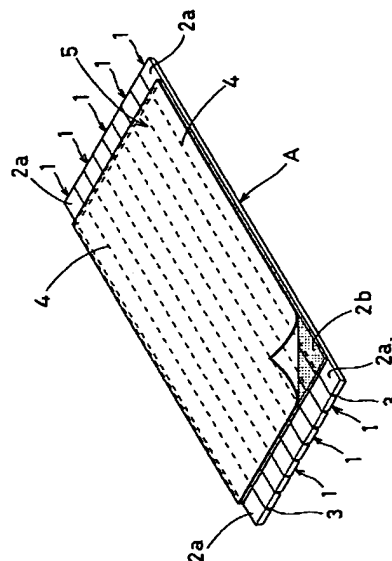
(54) 【発明の名称】 害虫粘着捕獲材

(57) 【要約】

【課題】 構造が簡単で生産効率が良く、使用中に風に煽られるなどしても引っ付くことなく接着面積が小さくなることがなく、しかも単に紙に包むなどして簡単に廃棄することができ、さらに犬や猫が接触しても、その接触した部分に接着し難く、また犬や猫の体に巻き付くようなこともなく、使えなくなって無駄になるようなことのない害虫粘着捕獲材を提供する。

【解決手段】 起立可能とした細長状の基材1の表面に、非粘着部2aを設けると共に粘着部2bを設けたものとしている。そして、前記粘着部2bを、飛翔害虫は接触して粘着捕獲されるが、犬、猫は接触しても離れ易いように設けたものとしている。

【選択図】 図1



【特許請求の範囲】

【請求項1】

起立可能とした細長状の基材（1）の表面に、非粘着部（2 a）を設けると共に粘着部（2 b）を設けたことを特徴とする害虫粘着捕獲材。

【請求項2】

前記基材（1）が、両端部のうちの少なくとも一端部に設けた非粘着部（2 a）を除いて粘着部（2 b）を設けると共に、両端におよぶ複数の切断用案内（3）を設けた面状基材（A）を、その切断用案内（3）に沿って、複数の細長状に切り離したものであることを特徴とする請求項1記載の害虫粘着捕獲材。

【請求項3】

前記粘着部（2 b）が、飛翔害虫は接触して粘着捕獲されるが、犬、猫は接触しても離れ易いように設けたものであることを特徴とする請求項1記載の害虫粘着捕獲材。

【請求項4】

前記粘着部（2 b）が、飛翔害虫の誘引剤および犬、猫の忌避剤を混入したものであることを特徴する請求項1記載の害虫粘着捕獲材。

【請求項5】

前記面状基材（A）の何れかの基材1の両端部のうちの少なくとも一端部に、基材（1）の立て台（6）を切り離し可能な状態で連設したことを特徴とする請求項2記載の害虫粘着捕獲材。

【請求項6】

前記粘着部（2 b）に、切断用案内（3）に沿うようにして切断用案内（4）を設けた離型紙（5）を貼着したことを特徴とする請求項2記載の害虫粘着捕獲材。

【請求項7】

前記粘着部（2 b）を、断面形状が星型多角形状の細長状の基材（1）の非粘着部（2 a）とした各角部を除いた側周部に設けたものとしたことを特徴とする請求項3記載の害虫粘着捕獲材。

【請求項8】

前記粘着部（2 b）を、複数枚の長尺状板材を断面放射形状に組み合わせた細長状の基材（1）の非粘着部（2 a）とした各側面部外端を除いた各側面部に設けたものとしたことを特徴とする請求項3記載の害虫粘着捕獲材。

【請求項9】

前記粘着部（2 b）を、縦方向に立設した板状部材（1 a）から横方向に突出した少なくとも一個の板状部材（1 b）からなる細長状の基材（1）の非粘着部（2 a）とした各板状部材（1 b）の外端部を除いた各表裏面に設けたものとしたことを特徴とする請求項3記載の害虫粘着捕獲材。

【請求項10】

前記粘着部（2 b）を、水平方向に張り出して非粘着部（2 a）とした円形の邪魔板（1 c）を少なくとも上部に備えた棒状部材（1 d）からなる細長状の基材（1）のその棒状部材（1 d）の側周部に設けたものとしたことを特徴とする請求項3記載の害虫粘着捕獲材。

【請求項11】

前記粘着部（2 b）を、幅狭の長尺状板材（1 e）と幅広の長尺状板材（1 f）を組み合わせる断面T字形状とした細長状の基材（1）の非粘着部（2 a）とした長尺状板材（1 e）の外端部を除いた裏面に設けたものとしたことを特徴とする請求項3記載の害虫粘着捕獲材。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】

この発明は、ハエなどの飛翔昆虫に適した害虫粘着捕獲材に関するものである。

【0002】

【従来の技術】

従来、ハエなどの飛翔昆虫に適した害虫粘着捕獲材として、両面に粘着剤を塗布したリボンを螺旋状に長く引き出した状態として、釣り下げるようにした、いわゆる「ハエ取りリボン」と称されるものが存在する。

【0003】

この「ハエ取りリボン」は、主に台所などハエの集まりそうな場所に、天井などから複数本、吊り下げて、そのリボンに止まったハエを粘着剤に粘着させて捕獲するようにしている。

【0004】**【発明が解決しようとする課題】**

しかしながら、従来の害虫粘着捕獲材は、前記リボンを螺旋状に引き出すようにするための構造が複雑なため、製造工程も煩雑となり、生産効率が悪いという課題を有していた。

【0005】

さらに、従来の害虫粘着捕獲材は、前記リボンを螺旋状に上手く引き出すことができず、リボンどうしが接着してしまったりして、引き出した状態が短くなって接着面積が小さくなり、捕獲効率が悪くなるという課題を有していた。

【0006】

また、従来の害虫粘着捕獲材は、天井などから吊り下げた複数本のリボンどうしが、風に煽られて引っ付いてしまい、前記と同様に接着面積が小さくなり、捕獲効率が悪くなるという課題を有していた。

【0007】

しかも、従来の害虫粘着捕獲材は、リボンが螺旋状に長く引き出された状態では廃棄時に嵩張るので、これを嵩低く纏めようとする、リボンが手や腕に付着し易く、その纏め作業がし難く、廃棄するのが面倒であるという課題を有していた。

【0008】

さらにまた、従来の害虫粘着捕獲材は、犬や猫を飼っている家庭では、前記リボンに犬や猫が接触すると、その接触した部分に接着して取れなくなってしまう、犬や猫の体に巻き付いてしまって、使えなくなることがあるという課題を有していた。

【0009】

そこで、この発明は、上記従来の課題を解決するものであり、構造が簡単で生産効率が良く、使用中に風に煽られるなどしても引っ付くことなく接着面積が小さくなることなく、しかも単に紙に包むなどして簡単に廃棄することができ、さらに犬や猫が接触しても、その接触した部分に接着し難く、また犬や猫の体に巻き付くようなこともなく、使えなくなっても無駄になるようなことのない害虫粘着捕獲材を提供することを目的としてなされたものである。

【0010】**【課題を解決するための手段】**

そのため、この発明の害虫粘着捕獲材は、起立可能とした細長状の基材1の表面に、非粘着部2aを設けると共に粘着部2bを設けたものとしている。

【0011】

そして、この発明の害虫粘着捕獲材は、前記基材1を、両端部のうちの少なくとも一端部に設けた非粘着部2aを除いて粘着部2bを設けると共に、両端におよぶ複数の切断用案内3を設けた面状基材Aを、その切断用案内3に沿って、複数の細長状に切り離したものである。

【0012】

さらに、この発明の害虫粘着捕獲材は、前記粘着部2bを、飛翔害虫は接触して粘着捕獲されるが、犬、猫は接触しても離れ易いように設けたものとしている。

【0013】

さらに、この発明の害虫粘着捕獲材は、前記粘着部2bを、飛翔害虫の誘引剤および犬、猫の忌避剤を混入したものである。

10

20

30

40

50

【0014】

さらに、この発明の害虫粘着捕獲材は、前記面状基材Aの何れかの基材1の両端部のうちの少なくとも一端部に、基材1の立て台6を切り離し可能な状態で連設したものとしている。

【0015】

さらに、この発明の害虫粘着捕獲材は、前記粘着部2bに、切断用案内3に沿うようにして切断用案内4を設けた離型紙5を貼着したものとしている。

【0016】

さらに、この発明の害虫粘着捕獲材は、前記粘着部2bを、断面形状が星型多角形状の細長状の基材1の非粘着部2aとした各角部を除いた側周部に設けたものとしている。

10

【0017】

さらに、この発明の害虫粘着捕獲材は、前記粘着部2bを、複数枚の長尺状板材を断面放射形状に組み合わせた細長状の基材1の非粘着部2aとした各側面部外端を除いた各側面部に設けたものとしている。

【0018】

さらに、この発明の害虫粘着捕獲材は、前記粘着部2bを、縦方向に立設した板状部材1aから横方向に突出した少なくとも一個の板状部材1bからなる細長状の基材1の非粘着部2aとした各板状部材1bの外端部を除いた各表裏面に設けたものとしている。

【0019】

さらに、この発明の害虫粘着捕獲材は、前記粘着部2bを、水平方向に張り出して非粘着部2aとした円形の邪魔板1cを少なくとも上部に備えた棒状部材1dからなる細長状の基材1のその棒状部材1dの側周部に設けたものとしている。

20

【0020】

さらに、この発明の害虫粘着捕獲材は、前記粘着部2bを、幅狭の長尺状板材1eと幅広の長尺状板材1fを組み合わせて断面T字形状とした細長状の基材1の非粘着部2aとした長尺状板材1eの外端を除いた裏面に設けたものとしている。

【0021】

【発明の実施の形態】

以下、この発明の害虫粘着捕獲材を実施の形態に基づいて詳細に説明する。

25

【0022】

この発明の害虫粘着捕獲材は、起立可能とした細長状の基材1の表面に、非粘着部2aを設けると共に粘着部2bを設けたものとしている。

30

【0023】

すなわち、この発明の害虫粘着捕獲材は、図1に示したように、面状基材Aの表面に、両端部に設けた非粘着部2aを除いて粘着剤層などとした粘着部2bを設けたものとしており、前記面状基材Aの裏面側から表面側に向けて、両端におよぶ等間隔の複数の切断用案内3を設けたものとしている。また、前記粘着部2bには、切断用案内3に沿うようにして切断用案内4を設けた離型紙5を貼着したものとしている。そして、前記基材1は、切断用案内3、4に沿って面状基材Aを複数の細長状に切り離したものとしている。

【0024】

さらに、この発明の害虫粘着捕獲材は、図2、3に示したように、面状基材Aの表面に、両端部に設けた非粘着部2aを除いて粘着剤層などとした粘着部2bを設けたものとしており、前記面状基材Aの裏面側から表面側に向けて、両端におよぶ等間隔の複数の切断用案内3を設けたものとしている。また、前記粘着部2bには、切断用案内3に沿うようにして切断用案内4を設けた離型紙5を貼着したものとしている。そして、前記基材1は、切断用案内3、4に沿って面状基材Aを複数の細長状に切り離したものとしている。さらに、前記面状基材Aの何れかの基材1の一端部には、細長状の基材1の立て台6を切り離し可能な状態で連設したものとしている。

40

【0025】

また、この発明の害虫粘着捕獲材は、図4、5に示したように、面状基材Aの表面に、両

50

端部に設けた非粘着部 2 a を除いて粘着剤層などとした粘着部 2 b を設けたものとしており、前記面状基材 A の裏面側から表面側に向けて、両端におよぶ等間隔の複数の切断用案内 3 を設けたものとしている。さらに、複数の切断用案内 3 の各間において、図 4 に示したように、面状基材 A の両端部から交互に、または図 5 に示したように、両端部の何れかから、その面状基材 A の略中央部まで差込み用切り目 7 を設けたものとしている。また、前記粘着部 2 b には、切断用案内 3 に沿うようにして切断用案内 4 を設けた離型紙 5 を貼着したものとしている。そして、前記基材 1 は、切断用案内 3、4 に沿って面状基材 A を複数の細長状に切り離したものとしている。なお、この害虫粘着捕獲材においても、図示していないが、前記面状基材 A の何れかの基材 1 の一端部には、細長状の基材 1 の立て台 6 を切り離し可能な状態で連設したものとしてもよいのは言うまでもない。

10

【0026】

前記面状基材 A は、ボール紙などの厚紙、木板、合成樹脂板などにより長方形状に作成され、その大きさや厚みは特に限定されないが、縦横をそれぞれ 5 ~ 40 cm 程度、厚みを 0.1 ~ 5 mm 程度にするのが、商品とした場合に梱包や運搬がし易いものとなり、商品展示するのにも都合の良いものとなる。また、細長状に切り離したときの幅は、0.5 ~ 5 cm 程度とするのが、使用し易いものとなり好ましい。なお、この発明において、細長状とは、短冊状、棒状、筒状などのように細くて長い形状であればすべて含むものとする。

【0027】

前記粘着部 2 b は、適宜、粘着剤を塗布するなどしたものとし、面状基材 A の両端部のうちの少なくとも一端部に設けた非粘着部 2 a を除いて、その面状基材 A の一面に設けたものとすればよい。すなわち、図示したものでは、両端部に設けた非粘着部 2 a を除いて面状基材 A の一面に設けたものとしているが、両端部のうちの何れかの一端部に設けた非粘着部 2 a を除いて面状基材 A の一面に設けたものとしてもよい。また、前記粘着部 2 b を形成する粘着剤には、必要に応じて、飛翔害虫の誘引剤、殺虫剤、成長調整剤、犬、猫の忌避剤、紫外線防止剤、着色剤、安定剤などの機能性物質を混入したものとしてもよい。このような機能性物質を混入することにより、この発明の害虫粘着捕獲材は、飛翔害虫を粘着捕獲し易いものとなると共に犬、猫が寄り付き難いものとなり、しかも耐候性に優れたものとなる。さらに、これら機能性物質は、前記面状基材 A や立て台 6 に含浸させたり、付着させたものとしてもよい。なお、前記粘着部 2 b には、離型紙 5 を貼着したものとするのが、面状基材 A を切り離すときに手指に粘着部 2 b が引っつく心配が全くなったり、商品包装がし易いものとなるが、離型紙 5 を貼着したものとしなくてもよい。

20

30

【0028】

前記切断用案内 3、4 は、手指またはハサミなどによって容易に切断して切り離せるようにしたものであればよく、ミシン目、切り目、スリット孔、切り取り線、折り取り線、千切り線などとすることができる。

【0029】

前記立て台 6 は、面状基材 A の何れかの基材 1 の両端部のうちの少なくとも一端部に、切り離し可能な状態で連設したものとするればよい。すなわち、図示したものでは、面状基材 A の何れかの基材 1 の一端部にこの立て台 6 を一個、切り離し可能な状態で連設したものとしているが、面状基材 A の何れかの基材 1 の両端部に一個ずつ、この立て台 6 を切り離し可能な状態で連設したものとしてもよい。また、前記立て台 6 は、テーブルや机などの水平面上に置いて切り離した基材 1 を立てるようにしたものでも、壁などの垂直面上に取り付けて、切り離した基材 1 を立てるようにしたものでもよい。図 2、3 に示した立て台 6 は、水平面上に置いて切り離した基材 1 を立てるようにしたものであり、円錐台状の中空台の上面に、切り離した基材 1 の差込孔 8 を複数個設けたものとしている。図 6 に示した立て台 6 は、垂直面上に取り付けて、切り離した基材 1 を立てるようにしたものであり、円錐台状の中空台の上面に打出し片 9 を設け、その打出し片 9 に切り離した基材 1 の差込孔 8 を複数個設けたものとしている。なお、前記差込孔 8 は、スリット状、L 字状、十字状、三角形状、四角形状など、差し込む基材 1 の形状に応じた形状とすることができる。

40

50

【0030】

さらに、この発明の害虫粘着捕獲材は、図7～12に示したように、前記粘着部2bが、飛翔害虫は接触して粘着捕獲されるが、犬、猫は接触しても離れ易いように設けたものとしている。

【0031】

すなわち、この発明の害虫粘着捕獲材は、図7、8に示したように、前記粘着部2bを、断面形状が星型多角形状の細長状の基材1の非粘着部2aとした各角部を除いた側周部に設けたものとしている。この場合、犬、猫が接触しても離れ易いようにするには、前記基材1の断面形状の外周円の最大直径を、約0.1～5cmとし、非粘着部2aの幅を粘着部2bの幅の約1/3程度とするのが好ましい。また、犬、猫が接触しても離れ易いようにするには、前記多角形状の各頂点間の間隔が狭い方がよい。

【0032】

さらに、この発明の害虫粘着捕獲材は、図9に示したように、前記粘着部2bを、複数枚の長尺状板材を断面放射形状に組み合わせた細長状の基材1の非粘着部2aとした各側面部外端を除いた各側面部に設けたものとしている。この場合、犬、猫が接触しても離れ易いようにするには、前記基材1の断面形状の外周円の最大直径を、約0.1～5cmとし、非粘着部2aの幅を粘着部2bの幅の約1/3程度とするのが好ましい。

【0033】

さらに、この発明の害虫粘着捕獲材は、図10に示したように、前記粘着部2bを、縦方向に立設した板状部材1aから横方向に突出した少なくとも一個の板状部材1bからなる細長状の基材1の非粘着部2aとした各板状部材1bの外端部を除いた各表裏面に設けたものとしている。この場合、犬、猫が接触しても離れ易いようにするには、前記基材1の板状部材1bの突出長さを、約1～10cmとし、非粘着部2aの幅を粘着部2bの幅の約1/3程度とするのが好ましい。

【0034】

さらに、この発明の害虫粘着捕獲材は、図11に示したように、前記粘着部2bを、水平方向に張り出して非粘着部2aとした円形の邪魔板1cを少なくとも上部に備えた棒状部材1dからなる細長状の基材1のその棒状部材1dの側周部に設けたものとしている。この場合、犬、猫が接触しても離れ易いようにするには、前記基材1の邪魔板1cの最大直径を、約5～10cmとし、棒状部材1dの最大直径を、約1～3cmとするのが好ましい。なお、前記邪魔板1cは、図示していないが必要に応じ、棒状部材1dの中間部または下部にも備えたものとしてもよい。

【0035】

さらに、この発明の害虫粘着捕獲材は、図12に示したように、前記粘着部2bを、幅狭の長尺状板材1eと幅広の長尺状板材1fを組み合わせて断面T字形状とした細長状の基材1の非粘着部2aとした長尺状板材1eの外端部を除いた裏面に設けたものとしている。この場合、犬、猫が接触しても離れ易いようにするには、前記基材1の長尺状板材1eの幅を、約3～10cmとし、非粘着部2aの幅を粘着部2bの幅の約1/3程度とするのが好ましい。

【0036】

以上のように構成したこの発明の害虫粘着捕獲材は、次のようにして使用することができる。

【0037】

まず、図1に示したものでは、手指またはハサミなどによって切断用案内3、4に沿って、面状基材Aおよび離型紙5を同時に切断すれば、複数に切り離された細長状の基材1を得ることができる。そして、この細長状の基材1から離型紙5を剥がして、その基材1の一端部を摘んで、他端部を適当な台に差し込むなどして起立させておけば、害虫粘着捕獲材として使用することができる。この場合、前記基材1は、各切断用案内3により、一個毎に切り離したものとしても、切断用案内3を一個または複数個、飛ばすことにより、複

数個毎に切り離したものとすべし。

【0038】

さらに、図2、3に示したものでは、手指またはハサミなどによって、面状基材Aから立て台6を切り離すと共に、切断用案内3、4に沿って、面状基材Aおよび離型紙5を同時に切断すれば、複数に切り離された細長状の基材1を得ることができる。そして、この細長状の基材1から離型紙5を剥がして、その基材1の一端部を摘んで、他端部を前記立て台6の差込孔8に差し込んで起立させておけばよい。この場合、基材1を何個毎に切り離したものとすべしのかによって、前記立て台6に形成する差込孔8の形状は、例えば次のようなものとすることができる。まず、基材1を一個毎に切り離したものとすれば、図13に示したように、前記立て台6の上面に設けた横長のスリット状の差込孔8に差し込んで起立させておけばよい。さらに、基材1を二個毎に切り離せば、図14に示したように、前記立て台6の上面に設けたL字状の差込孔8に差し込んで起立させておけばよい。また、基材1を四個毎に切り離したものとすれば、図15に示したように、前記立て台6の上面に設けた四角形状の差込孔8に差し込んで起立させておけばよい。

10

【0039】

また、図4、5に示したものでは、手指またはハサミなどによって、切断用案内3、4に沿って、面状基材Aおよび離型紙5を同時に切断すれば、複数に切り離された細長状の基材1を得ることができる。次に、これら切り離された二個の基材1の差込み用切り目7どうしを、互いに差し込んで十字状に重ね合わせる。

そして、この細長状の基材1から離型紙5を剥がして、その基材1の一端部を摘んで、他端部を、図16に示したように、前記立て台6の上面に設けた十字状の差込孔8に差し込んで起立させておけばよい。

20

【0040】

なお、前記立て台6を壁などの垂直面上に取り付けて、切り離した基材1を起立させるようにしたものでは、図17に示したように、立て台6をピンやビスなどで壁面Wに固着させて、この立て台6から打出し片9を水平状態に突出させて、その打出し片9に設けた差込孔8に、基材1の一端部を摘んで、他端部を前記打出し片9に設けた差込孔8に差し込んで起立させておけばよい。

【0041】

さらに、図7～9に示したものでは、図18、19に示すように、立て台6の差込孔8に差し込んで起立させておけば、害虫粘着捕獲材として使用することができる。図18に示した立て台6は、板状体6aの下部に前記差込孔8を形成した横部材10を設けたものとし、前記板状体6aの上部中央に、壁面などの吊下げ部（図示せず）に吊り下げておくための、吊下げ用孔11を形成したものである。さらに、図19に示した立て台6は、板状体6aの略中央部に害虫の通口12が形成されており、この通口12の下方には前記差込孔8を形成した横部材10を設けたものとし、通口12の下部から板状体6aの下部にかけて支持部13を形成したものとすべし、床面などに立てておけるようにしている。このようにすると、害虫が前記通路12を通り、捕獲性が向上することになる。また、前記板状体6aの上部両端には、壁面などの吊下げ部（図示せず）に吊り下げておくための、吊下げ用孔11を形成したものである。なお、前記図18、19に示した立て台6は、ともに横部材10の内部を中空にして、基材1を収納できるようにしておくこともできる。

30

40

【0042】

さらに、図10～13に示したものでは、図示していないが、適当な立て台（図示せず）に差し込んで起立させたり、そのまま起立させておけば、害虫粘着捕獲材として使用することができる。

【0043】

【発明の効果】

この発明の害虫粘着捕獲材は、以上に述べたように構成されているので、構造が簡単で生産効率が良く、使用中に風に煽られるなどしても引っ付くことなく接着面積が小さくなる

50

ことがなく、しかも単に紙に包むなどして簡単に廃棄することができるものとなり、非常に取り扱い易いものとなった。

【0044】

さらに、この発明の害虫粘着捕獲材は、犬や猫が接触しても、その接触した部分に接着し難く、また犬や猫の体に巻き付くようなこともないので、犬や猫の接触によって使えなくなって無駄になるようなことのないものとなった。

【図面の簡単な説明】

【図1】この発明の害虫粘着捕獲材の一実施形態を示す斜視図である。

【図2】この発明の害虫粘着捕獲材の他の実施形態を示す斜視図である。

【図3】図2に示したこの発明の害虫粘着捕獲材の断面図である。

10

【図4】この発明の害虫粘着捕獲材のさらに他の実施形態を示す斜視図である。

【図5】この発明の害虫粘着捕獲材のさらに他の実施形態を示す斜視図である。

【図6】この発明の害虫粘着捕獲材の立て台の他の例を示す斜視図である。

【図7】この発明の害虫粘着捕獲材のさらに他の実施形態を示す斜視図である。

【図8】この発明の害虫粘着捕獲材のさらに他の実施形態を示す斜視図である。

【図9】この発明の害虫粘着捕獲材のさらに他の実施形態を示す斜視図である。

【図10】この発明の害虫粘着捕獲材のさらに他の実施形態を示す斜視図である。

【図11】この発明の害虫粘着捕獲材のさらに他の実施形態を示す斜視図である。

【図12】この発明の害虫粘着捕獲材のさらに他の実施形態を示す斜視図である。

【図13】この発明の害虫粘着捕獲材の一使用状態を示す斜視図である。

20

【図14】この発明の害虫粘着捕獲材の他の使用状態を示す斜視図である。

【図15】この発明の害虫粘着捕獲材のさらに他の使用状態を示す斜視図である。

【図16】この発明の害虫粘着捕獲材のさらに他の使用状態を示す斜視図である。

【図17】この発明の害虫粘着捕獲材のさらに他の使用状態を示す斜視図である。

【図18】この発明の害虫粘着捕獲材のさらに他の使用状態を示す斜視図である。

【図19】この発明の害虫粘着捕獲材のさらに他の使用状態を示す斜視図である。

【符号の説明】

1 基材

1 a 板状部材

1 b 板状部材

30

1 c 邪魔板

1 d 棒状基材

1 e 長尺状板材

1 f 長尺状板材

2 a 非粘着部

2 b 粘着部

3 切断用案内

4 切断用案内

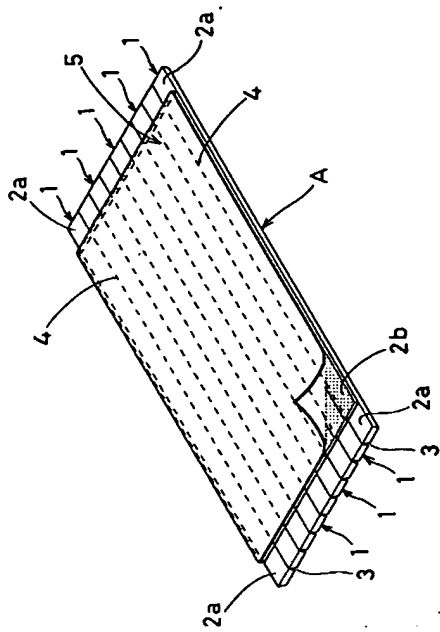
5 離型紙

6 立て台

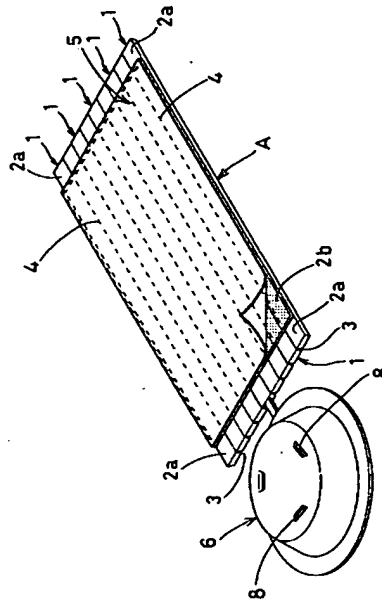
40

A 面状基材

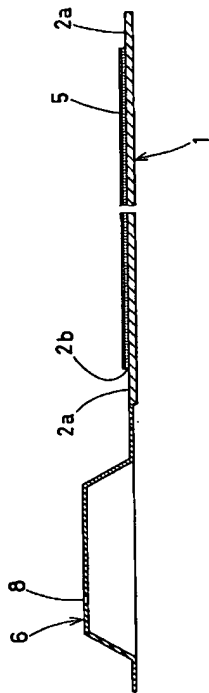
【図 1】



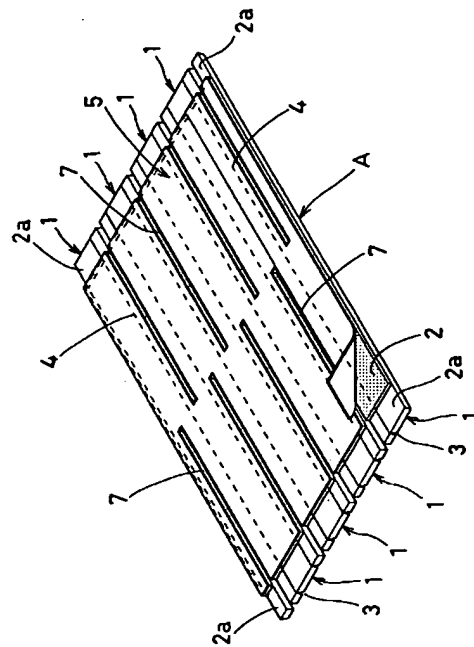
【図 2】



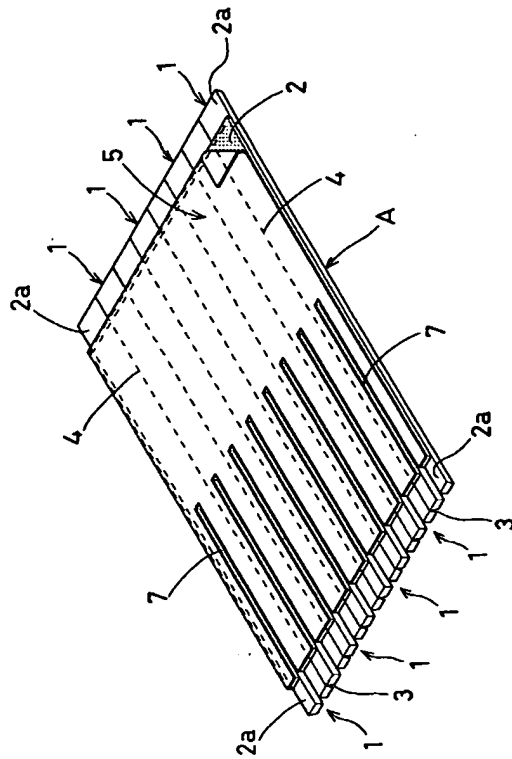
【図 3】



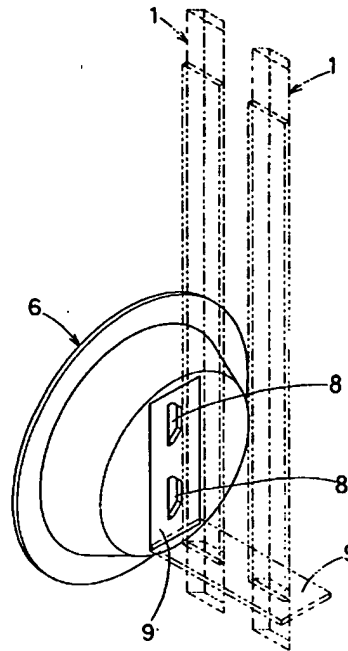
【図 4】



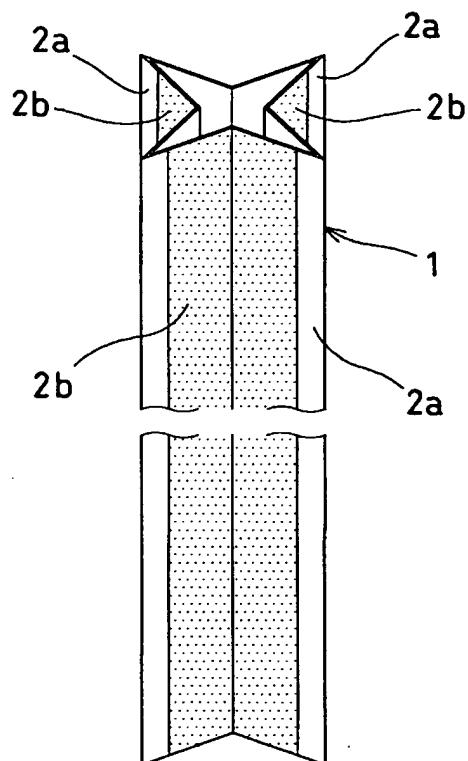
【図 5】



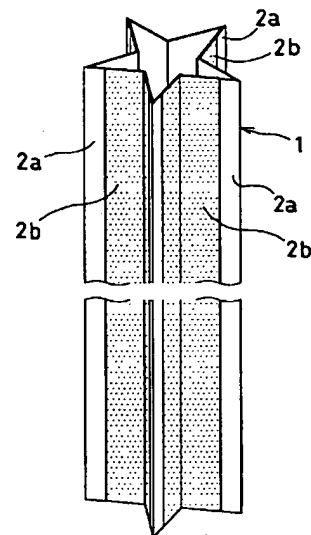
【図 6】



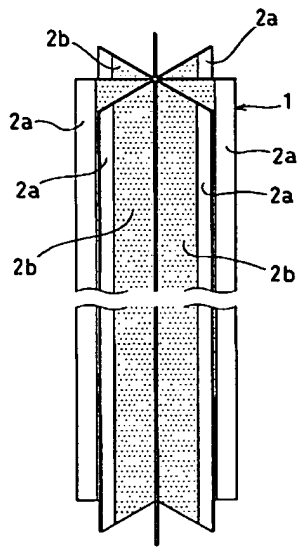
【図 7】



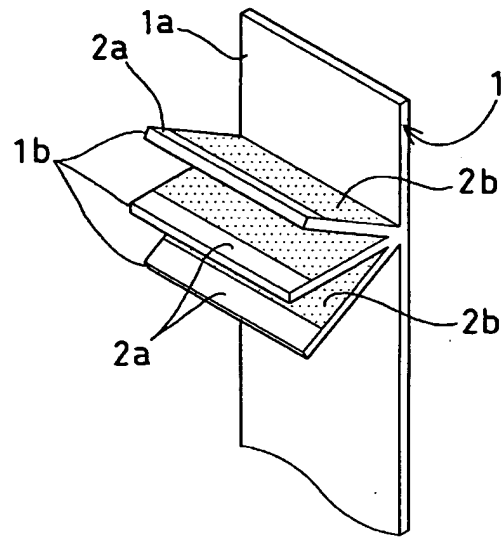
【図 8】



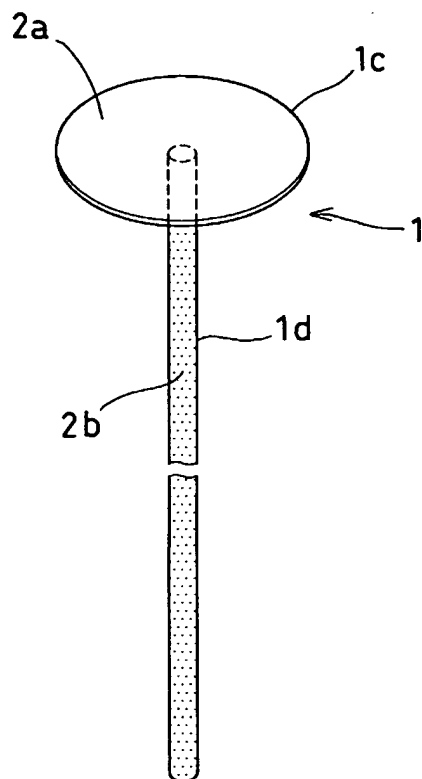
【図 9】



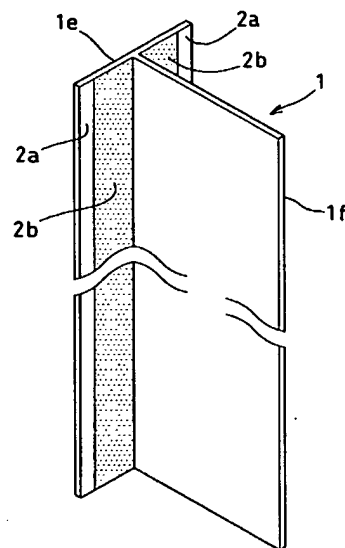
【図 10】



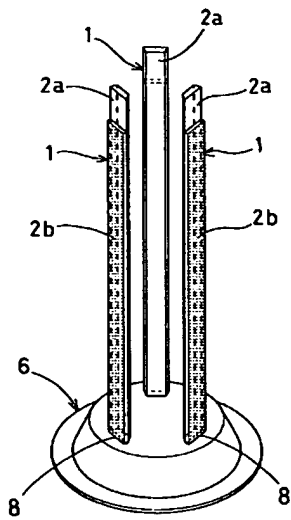
【図 11】



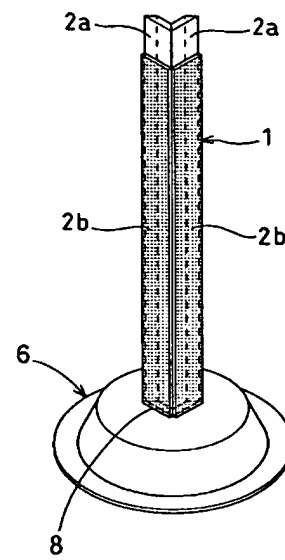
【図 12】



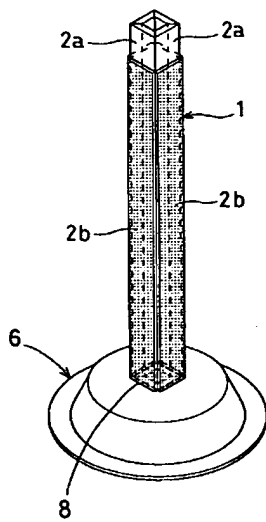
【図 13】



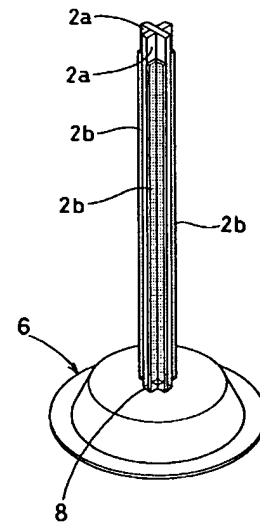
【図 14】



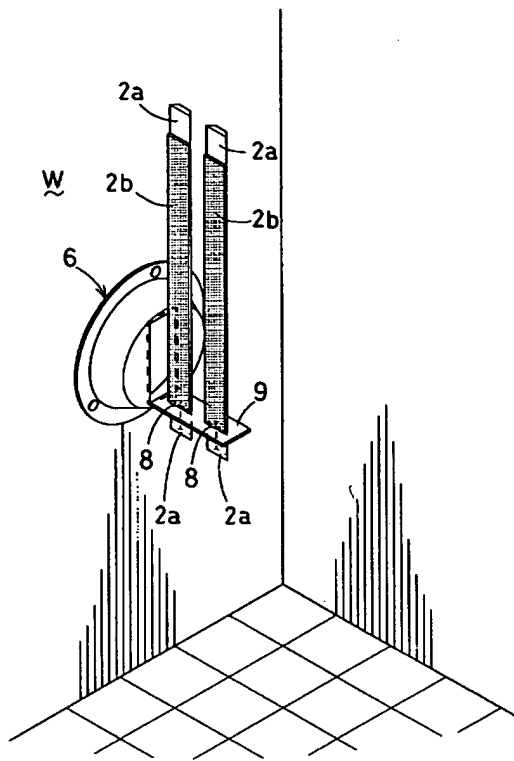
【図 15】



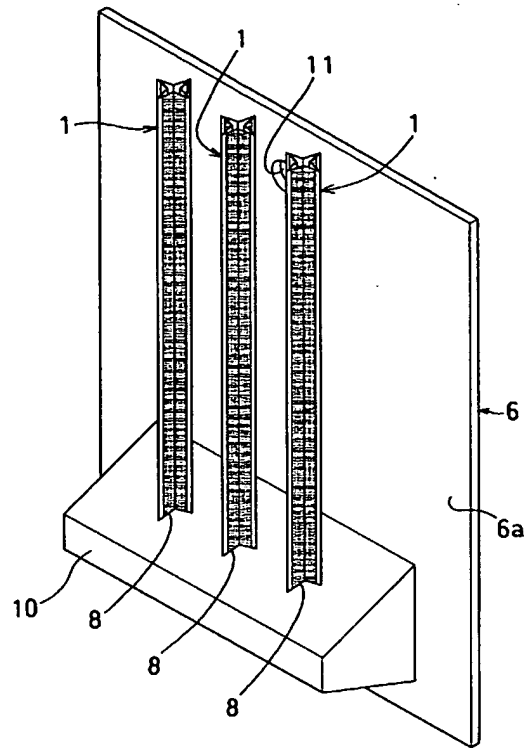
【図 16】



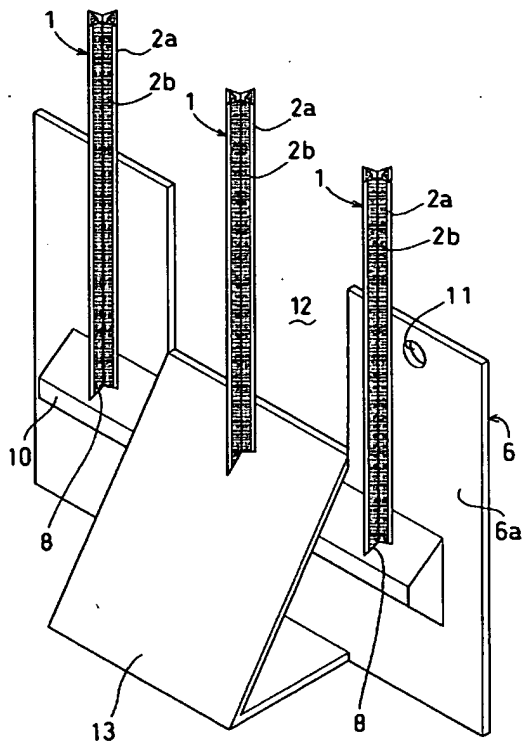
【図 17】



【図 18】



【図 19】



PAT-NO: JP02004097203A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 2004097203 A
TITLE: PRESSURE-SENSITIVE ADHESIVE MATERIAL FOR
CATCHING NOXIOUS INSECT
PUBN-DATE: April 2, 2004

INVENTOR-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
TAKENAKA, KAZUYOSHI	N/A

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
EARTH CHEM CORP LTD	N/A

APPL-NO: JP2003105290

APPL-DATE: April 9, 2003

PRIORITY-DATA: 2002209559 (July 18, 2002)

INT-CL (IPC): A01M001/14, A01M001/02

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a pressure-sensitive adhesive material for catching noxious insects, having a simple structure so as to be efficiently produced, capable of being prevented from adhering to each other and scarcely reduced in its adhesive area, even when flapped by wind in its use, capable of being simply wasted, by only wrapping the material with paper, etc., scarcely adhering to a contact area of a dog or a cat, nor being twined around the body thereof, even when the dog or the cat comes into contact with the material, and therefore capable of preventing itself from being useless and led to waste.

SOLUTION: This material has a non-adhesive part 2a set up on a surface of a long and narrow base material 1 which can be stood up, and further has a pressure-sensitive adhesive part 2b set up on the surface. Therefore, the flying noxious insect is adhered to the pressure-sensitive adhesive part 2b and caught, when comes into contact therewith, but the dog or the cat is easily freed therefrom, even when contact therewith.

COPYRIGHT: (C) 2004, JPO

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ BLACK BORDERS
- ☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- ☒ FADED TEXT OR DRAWING
- ☐ BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING
- ☐ SKEWED/SLANTED IMAGES
- ☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS
- ☐ GRAY SCALE DOCUMENTS
- ☐ LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT
- ☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY
- ☐ OTHER: _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.